

2・3年生保護者会 挨拶

みなさま、こんにちは。本日はご多用の中、また足元の悪い中、ご来校いただきありがとうございます。年度当初の保護者会開催にあたり一言ご挨拶申し上げます。

まずは、お子様の進級おめでとうございます。

私は、前任の内田校長先生のご退職に伴い、4月1日付で校長を拝命いたしました、二見 隆久と申します。実は私は平成18年度まで、こちらの学校で教員として勤務しておりました。7年ほど外で修業を積んで戻ってまいりました。保護者の皆様の中にも以前より存じ上げている方も見えて安心しております。大好きな朝霞第一中学校を職員と手を携えて最高の学校とすべく努力してまいりますので、どうぞよろしく願いいたします。

さてお手元に年度当初に立てました「学校経営方針」の概要をお配りしました。本日はこの資料をもとに少しお話させていただきます。

まずは学校教育目標ですが、新年度にあたり、これまでの「自立・貢献」に新たに「信頼」を加えることといたしました。もとより学校教育は、生徒・保護者・地域の皆様の「信頼」という基盤の上に成り立っております。

しかしながら、昨年度後半に生徒指導上の課題が連続して発生し、学校が落ち着かない状況がございました。私は3月まで朝霞市教育委員会の教育指導課長をしておりました関係から、学校と連携しながら対応しており、状況は理解しておりました。2月の緊急保護者会も立ち合わせていただきました。本校に着任が決まり、い

ろいろと学校の経営の方向性を考えていったときに真っ先に浮かんだのが、この「信頼」という言葉でした。これまでの自立・貢献は平成18年度に本校が新校舎に移転した時の校長先生が考えられたもので、それ以来引き継がれてきた言葉です。新任校長の私に変更するのは、勇気がいりましたが敢えて変更いたしました。年度初めの職員会議で職員にも私の思いを伝えました。「信頼こそが学校の基盤です。私は先生方を信頼します。先生方は生徒を信頼してください」「最初は一方通行でも生徒を最後まで信じ続けることで、教師も信頼を得ることが出来ます。先生方が変わることで学校を変えていきましょう」と話しました。そのことが目に見えて変わったことがあります。先生方が職員室にいないで、子どもたちのそばに常にいるようになったことです。休み時間や給食、清掃の時間など担任も副担任も関係なく、廊下や教室にいるようになりました。これは決して子どもたちを監視しているわけではなく、子供と触れ合いながら、寄り添うことを大切にしたいという先生方の思いの表れです。教師の目の届かないところで器物へのいたずらやいじめなどが発生します。昨年度に引き続き県警のスクールサポーターも週2回見回りに来ていただいておりますが、同じように触れ合っていただくようお願いしております。

生徒達には始業式で私の思いを話しました。資料の3枚目にその時の話を載せておきました。後でご覧いただきたいのですが、子ども達にはこの始業式とその後の入学式において2つのことをお願いしました。一つは変わる事自分自身を変えてみよう、そのことで学校も変わっていくという話。二つ目は学校は失敗してもいいところだけれど、どんなことがあっても人や物を傷つけないでほしいということです。4月に着任してすぐに事務職員から、「昨年度の破損個所の修繕が間に合わず、

今年度予算を使っても修繕しきれそうにないのでどうしたらよいでしょうか」と相談を受けました。破損箇所を一つ一つ、見て回りましたが2時間以上かかりました。

8年前にこの校舎ができたばかりの時に、私は生徒指導主任として「この校舎を美しいままで保持し続けたい」と思って頑張っていた頃を思い出し、心が痛くなりました。だから全部直そうと決心しました。

教育委員会に直接交渉をして見ていただき、何とか直してほしいとお願いしました。その結果学校予算ではなく、教育委員会の予算で全て直していただけることになりました。本当に有り難いことだなあと感じております。少し時間はかかりますが、間もなく工事が入ります。

しかし本当に直さなくてはいけないのは、始業式の話にもあるように物を壊したり、授業中に暴言や暴力を起こしてしまう子どもたちの心です。あたりまえですが、これはお金では直せない。教育の力で直していくしかないのです。

そのために学校を大胆に改革し、全力で教育活動を進めてまいります。「生徒から信頼される教師・保護者から信頼される教育・地域から信頼される学校」を目指して、私ども教職員一同、気持ちも新たに全力を尽くしてまいります。

しかしながら、教育は学校だけで完結するものではありません。保護者、地域の皆様のご理解とご協力がなければ、漕ぎ出した船も目的地に到達できません。そこで皆様にごお願いがあります。一つ目、是非学校に足を向けていただきたい。今年度から朝霞第一中学校は、1年365日いつでも公開します。学校を見学・参観したい場合は、どうぞ来ていただいて見てください。そのうえでお気づきの点があればどうぞ申し出てください。二つ目、子ども達の話に耳を傾けてください。思春期の

子ども達ですから家庭でもあまり学校の話はしないかもしれません。保護者のみなさんもお忙しいとは思いますが、機会あるごとに声をかけて話をしてください。お子さんの様子が沈んでいたり、悩んでいるようであれば話を聞いて学校にも連絡をください。必ず対応します。

3つ目、教職員の指導方針や思いを理解していただいた上で、同一歩調にて生徒のより良い未来のために共に歩んでいただきたいということです。学校には様々なご意見が寄せられます。中には大変厳しいご批判もあります。頭ごなしに怒鳴られる場合も少なくありません。生徒を指導した際も保護者の方々にご連絡を差し上げて説明させていただいておりますが、誤解を生じる場合もあります。

しかし、子ども達のことを考えずに一方的に指導をする教員はおりません。ただし間違っているときには厳しくしかることもあります。行き過ぎた指導にならないように十分注意しますが、注意されたことや指導の中身でなく注意の仕方や教師の言い方に腹を立てて反抗してくる生徒もいます。生徒の話に耳を傾けていただきたいと申し上げましたが、子どもの言い分だけで判断せず、疑問がある場合にはぜひ学校にお問い合わせください。学校と家庭が同じ方向を見て子どもたちを育てることにご協力をお願いします。

長々話してまいりましたが、最後に経営方針に示した目指す学校像「誇りを胸に未来に向かって前進し続ける学校」および目指す生徒像3点は、生徒も教師も保護者の皆様、縁あってこの朝霞第一中学校に集う全ての人々がこの学校に誇りを持っていただけるように教育活動を展開してまいりますのでご理解とご協力をお願いいたします。

## 平成26年度 入学式 式辞

校庭の樹木の緑が目に見えて濃くなってまいりました。花々も一斉に咲き出し、生きるもののすべてに生命の息吹きなぎる希望の季節を迎え、朝霞市立朝霞第一中学校 平成26年度 第68回入学式が 多くのご来賓の皆様、また多くの保護者の皆様のご臨席を賜り、挙行できますことを大変うれしく存じます。私は今年度4月1日より、校長として着任いたしました二見隆久と申します。どうぞよろしく願いいたします。

さて、ただいま呼名をしました281名の新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。皆さんは今日から朝霞第一中学校の生徒です。ここにいる2・3年生の先輩方、私たち教職員一同、皆さんが入学されることを心から歓迎いたします。そして本校での3年間で素晴らしいものになるよう全力で応援していきます。

今、皆さんの胸には今日から始まる中学校生活に大きな期待と希望、同時に少しの不安や心配があると思いますが、勉強や部活動など初めてのことを心配するよりも、わからないことを恐れず積極的にチャレンジする気持ちを持って前向きに頑張ってください。

そのために少しヒントとなると思いますので、「中学校ってどんなところか」

についてお話しします。まず、中学校は「大人になる準備をするところ」です。

難しく言うと義務教育最後の3カ年です。みなさんは、4月から電車やバスの料金が「大人料金」になりました。だからといって、3月31日まではこども、4月になったら急に大人になるわけではありません。中学校の3年間で少しずつ大人に近づいていけばよいのです。頭の中にひらがなで「こども」と思い浮かべてください。最初はこどもの点々が取れて「ことも」次に「ことも」の「も」が「な」に代わって「ことな」最後に1文字目が「お」に変わって「おとな」になるという具合です。

みなさんは大人というと、どんなイメージを持っていますか。大人は自由でいいなと思っている人、中には大人はずるいと思っている人もいるかもしれません。確かに大人は自由ですが、その分、責任も負っています。中学校では皆さんを大人扱いしていきます。小学校までは先生が決めたり、指示していたことも生徒自身が考えて、決めていくようになります。ですから皆さんには、自由になることが増えます。そしてその分、責任も重くなります。「自分の行動に責任を持つこと」を忘れないでください。

ただし先ほど言ったように皆さんは最初から大人ではありません。

ですから中学校は「たくさん失敗していいところ」です。中学校生活の中で

苦しいことやつらいことがあっても皆さんの周りには友達や先輩や先生方そして皆さんを愛してくれる家族がいます。ですから安心して失敗してください。どうぞ悩んでください。失敗や悩みを乗り越えたときに人は大きく成長します。失敗や間違いを機会にそこから何か学びとるのであれば、その失敗や間違いは良き経験となり、そこに必ず成長があります。

最後に中学校は「いろんな人に出会えるところ」です。皆さんは12の小学校からこの朝霞一中に進学しました。ここには848人の一人ひとり違う人が一緒に暮らすことになります。金子みすずさんの詩の中に「みんなちがって、みんないい」という一節がありますが、みんな違うってことこれは大変大切です。皆が同じ顔で同じ性格だったらこれは相当気持ち悪い。中には自分と合わないなあと感じたり、苦手だなあと思う人もいるかもしれません。それはそれであたり前ですが、だからと言って相手を否定したり傷つけたりすることはあってはなりません。先ほど失敗や間違いはしてもいいと言いましたが、人や物を傷つける行為、いじめや暴力は絶対に許しません。みんな違った個性を持つ生徒一人一人、先生方が認め合って生活していくことが大切です。今日出会った仲間たちと励まし合って支え合っていきましょう。

少し長くなりましたが、中学校は楽しいところです。「仲間たちと認め合い、

支え合い失敗を恐れず、大人への階段を一步ずつ登って行き」素晴らしい中学校生活を過ごされることを期待しています。

保護者の皆様に申し上げます。本日はお子様の入学まことにおめでとうございます。お子さんの制服姿に、中学生になったという感慨とともに、今後の健やかな成長を願う気持ちを新たにされていることと思います。どうぞ今日の晴れ姿をこれからの新たな出発点として大切にしてください、お子さんのよさを認め、伸ばしていただきたいと思ひます。

今年度、学校教育目標に新たに「信頼」と言う理念を明記しました。もとより学校教育は生徒・保護者・地域の皆様の信頼という基盤の上に成り立っております。「生徒から信頼される教師、保護者から信頼される教育、地域から信頼される学校」を目指して私ども教職員一同、気持ちも新たに全力を尽くしてまいりますので、様々な面での本校へのお力添えをよろしくお願いいたします。

おわりに、本日ご出席いただきましたご来賓並びに保護者の皆様に改めて御礼申し上げますとともに、一層のご支援、御協力をお願い申しあげまして、式辞といたします。

平成二十六年四月八日

朝霞市立朝霞第一中学校長 二見 隆久



## 「変わる」

みなさん、おはようございます。春になりました。桜の花はずいぶん散ってしまいましたが、暖かくなり本格的な春がやってきました。春は新たなことが始まる季節、何となくわくわくします。今日から学校は、平成26年度のスタートです。みなさん進級おめでとうございます。2年生だった皆さんは3年生になり最上級生になりました。1年生だった皆さんは2年生になり、中堅学年として初めて後輩もできます。それぞれの学年で最高の一年をすごすように頑張りましょう。

私は、4月1日からこの朝霞第一中学校の校長となりました 二見 隆久といいます。よろしく願いいたします。実は私は8年前この校舎が新しくなった最初の年まで、この学校に先生として勤めていました。だから久しぶりにこの学校に戻ってきたことになります。もしかするとみなさんのお兄さんやお姉さんを教えたかもしれません。大好きな朝霞一中に戻ってくることができてわくわくしています。一緒に最高の学校を作って行きましょう。

さて4月の最初に当たって少しお話をします。今日のテーマは「変わる」ということです。学校の1年間は4月に始まって3月に終わります。今日から学校は年度が変わりました。みなさんも学年が一つ上がり、クラスも変わりました。午後には新しい1年生が入学してきます。校長先生をはじめ、あとで紹介

しますが先生方も変わりました。

そこで学校教育目標も変えました。みなさんにとってはあまり関心がないかもしれませんが、学校教育目標と言うのは、朝霞一中の目指すもの、分かりやすく言うとバスや電車の行先表示と同じようにこれから朝霞一中が向かうべき行き先です。これまでの自立・貢献に加えて「信頼」という言葉を付け加えました。私は先生方に最初の日「私は先生方を信頼します。先生方は何があっても生徒を信頼してください」とお願いしました。信頼と言うのは本来、お互いの間に成り立つものです。学校は先生方と皆さんの信頼関係の上に成り立っているものです。だから先生方はもう一度原点に戻って「信頼」という言葉を胸に頑張ります。

みなさんも変わるチャンスです。1年生の時、2年生の時うまくいかなかったこと、勉強や部活動、友達関係など学年が変わる今、1度リセットをして新たに目標を立てて頑張るチャンスです。

残念なことに昨年度、後半に学校が落ち着かない状態が続きました。その中で心を痛めていた人もたくさんいると思います。

私は学校を変えたい。みんなが安心して通える学校にしたい。先生方と生徒、生徒同士がお互いを信頼して、毎日楽しく通える学校にしたい。そのことをずっと考えてきました。

でも学校が変えるというのはなかなか難しい。変えると変わるは違う。だか

ら今日の話のテーマは「変わる」にしました。先生方が変わる、生徒のみなさんも変わる、その結果で学校は変わるのだと思います。心は見えないけれど行動は見えます。今年は行動が変わる年にしなければなりません。

先日、学校の中の破損箇所、壊れているところ、壊されてしまったところを見て回りました。たくさんあって心が痛くなりました。

だから全部直すことにしました。たくさんお金がかかります。でもこれはやらなくてはいけない。トイレも窓も廊下や教室のストーブも電気のスイッチも掃除用具入れも、お金をかければ直ります。でももしこの中に壊してしまった人がいるなら、本当に直さなければならないのは、その人たちの心です。だから直します。しばらく時間はかかっても直します。

これは私からのお願いです。どうか2度と壊さないでください。どうかやっ  
ていいことといけないことをきちんと見極める心を持ってください。もし気づいた人がいたら止めてください。

そして誰もが・・・生徒も先生も・・・自分の生き方に「誇りを持って」この朝霞第一中学校の一員として学校に「誇りを持って」・・・毎日楽しく通える、未来に向かって前進する学校にしたいと思います。

さて、四月の初めから重たい話をしてごめんなさいね。最初に話したように校長先生も先生方もみなさんを信頼して、一生懸命頑張ります。一緒に素晴らしい学校を築き上げるために頑張っていきましょう。